

れいわ

新選組

れいわしんせんぐみ



ごあいさつ

もうじき、市議会議員として3年目になります。2年間を振り返って感じるのは、国や東京都の補助がないと市はなかなか動かないということです。

その中に学校給食費の無償化があります。都の補助が2分の1のときは実施されませんでしたが、8分の7となった令和7年度予算からは実施されます。

国や都の補助金に頼るのではなく、市民のみなさんが少しでも暮らしやすい街になるように、小平市独自の政策を実現していきたいと考えています。

不安、ご意見やご要望、お困り事など、みなさんの生の声をいつでも何でもお聞きかせください。みなさまからのご連絡、お待ちしております。

プロフィール

1960年 山口県岩国市生まれ

1983年 福岡大学工学部機械工学科卒

1983年 コンピューター保守会社にてATM等の保守業務を担当

1988年 音楽業界にて女優兼歌手やフュージョン系バンドのマネージャーとして従事

2001年 印刷会社の製袋工場にて製造現場や工場長を経て品質管理や衛生管理を担当

2022年 元衆議院議員秘書

2023年 小平市議会議員選挙初当選
<趣味> 音楽鑑賞
スポーツ観戦(野球・陸上)

<好きな言葉> 一期一会

市議会れいわ新選組 小平市議会議員

小平市議会ニュース

中倉茂和

なかくらしげかず

2025年 Vol.3



り残さない社会に

会派／市議会れいわ新選組

所属委員会／生活文教委員会

・公共施設マネジメント調査特別委員会

発行日／2025年4月00日

発行責任者／中倉茂和

report

議会で一般質問しました。

令和6年度6月と9月の定例会が閉会しましたのでご報告させて頂きます。
まずは6月定例会(6月6日)、本会議での一般質問です。

より効果的な
介護予防を!



人生100年時代を生き抜くための介護予防について

Q 筋力アップ介護予防運動講座の令和4年度の実績は市内13か所で95回開催、延べ1,367人受講あるが、その効果の検証は。

A 転倒予防につながる筋力や運動機能の維持・向上が主な目的。参加者には、目標や体調の変化、気づきを参加カードに記入してもらうなど、講座修了後も運動習慣を継続できるよう働きかけている。

Q 週1回、小平いきらく筋力アップ体操に取り組む3人以上の住民主体のフレトレ活動グループが令和4年度実績で40グループあるが、その活動内容及び、その効果の検証は。

A 各グループが地域センター等公共施設や公園などを会場として、週1回程度、小平いきらく筋力アップ体操を中心に行っている。3か月ごとに体力チェックを実施しており、数値の改善が見られることから、一定の効果がある。

＜質問を終えて＞

市でも介護予防としていろいろ取り組んでいますが、私は高知市のいきいき百歳体操を紹介。おもりを使った筋力運動の体操で、11段階に調整可能な形でおもりを手首や足首に巻き付け、ゆっくりと手足を動かして運動するので、誰でも簡単にできて、かつ、とても効果的な体操で成果も出ているが、採用はされませんでした。

ビジネスケアラー対策
待ったなし!



今後増えるビジネスケアラー対策について

Q 小平市独自のビジネスケアラー対策として取り組んでいることは。

A ビジネスケアラーに特化した支援は行っていないが、介護する家族への支援として、地域包括支援センターにおいて、介護者からの相談に対応し介護サービスの案内を行うとともに、介護者の身体的・精神的負担を和らげるための家族介護教室を開催している。

＜質問を終えて＞

ビジネスケアラー(働きながら家族や身近な人の介護・ケアを行っている人)の数は増加傾向で、2030年時点では家族を介護する約4割の318万人に上り、介護離職と合わせた経済損失額は約9兆円と試算されています。職員のビジネスケアラーは職場の理解不足や介護と仕事の両立が困難なことから、心身のストレスや疲労により本人のパフォーマンスの低下や介護離職による市民サービスへの低下にも繋がるので、早急な対策を望みます。

9月定例会(9月5日)の一般質問は以下の2点になります。

学校の断熱化で子どもたちの安全を守ろう!



公共施設や住宅の断熱化について

Q 小平市立小・中学校で、法律改正後の一次エネルギー消費量基準を満たしている学校は何校あるか。直近の教室の温度検査データは基準をクリアしているか。

A 新しい基準を全て満たしている学校はないが、昨今建設した校舎の増築棟などにおいては、合計6棟が新しい基準を満たしている。学校環境衛生基

<質問を終えて>

近年は、夏場の平均気温が毎年過去最高を記録しており、東京都心では8月16日に今年16回目となる猛暑日を観測し、観測史上最多日数を更新しました。ここまで暑くなってくると、学校で勉強している子どもたちも大変です。学習に集中できないばかりか、中には熱中症にかかるうも出ています。そこで、子どもたちを苛酷な暑さから救うため、早急に教室を断熱改修する取組が必要だと訴えました。

介護職員の待遇改善を!



介護職員宿舎借り上げ支援事業について

Q 小平市において地域密着型サービス事業所の介護職員宿舎借り上げ支援事業を行う予定は。

A 介護職員宿舎借り上げ支援について予定はないが、介護人材の確保策として、高齢者の生活支援を行う生活サポーターを養成するとともに、昨年度から、介護事業所からの要望を踏まえ、介護職員の資格取得支援事業を開始している。

<質問を終えて>

東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業では、地域密着型サービス事業所は助成の対象外なので、各自治体により助成するしかありません。働きやすい職場環境を実現し、介護人材の確保定着を図るために、小平では保育士には保育従事職員宿舎借り上げ支援事業があるので、介護職でもやってほしいと訴えましたが、事業所のほうからそういう声は上がってこない(事業所の負担が大きい)との理由で難しいとの回答でした。引き続き、介護職員の方々の待遇改善のためにも声を上げていきます。

日々の活動



市民との意見交換会



小平市民まつり

ちょっとブレイク!

小平市には小さいものも含めると321もの公園があるって知っていますか。

その中で健康器具が設置されているのは中央公園、鈴木地域センター公園など35公園に63基あり、背伸びベンチなどのストレッチの機能がついた器具が多いようです。身近な公園に健康器具があり、誰でもいつでも使うことができたら、お年寄りの健康寿命がもっと伸びると思いませんか。

私は一般質問でも全ての公園に健康器具を設置してほしいと訴えました。子ども、大人、お年寄り関係なく、健康新作りができる街となるように、みなさんの笑顔が溢れる街になるようにこれからも市に働きかけていきます。



report

行政視察に行ってきました!

10月23日から25日の3日間、生活文教委員会の一員として

北海道へ行政視察に行ってきました。

今回は小平町で視察した「児童・生徒の体験事業について」を紹介します。

小平市と北海道小平町は姉妹都市で、「小平町と連携した児童・生徒の体験事業について」を調査中です。今回は、「ゆうゆうそう(夕遊創)」で現在一般向けに行っている「農泊ビジネス」について説明を受けたり、小平町移住等体験用住宅である「ちょい蔵(ちょいくら)」などの現地視察を行いました。

小平町で児童・生徒の体験事業を行うことは、自然豊かな環境での多様な体験活動ができ、子どもたちの成長により影響を及ぼし、また、少人数での学習が可能であることから、個別のサポートが充実しており、親しみや

すい雰囲気の中で行き届いた教育ができる。さらに自然体験が豊富にあることから、体を動かしてリフレッシュでき、自然の中で活動することで、都市部の学校生活で感じていたストレスやプレッシャーを緩和し、自己肯定感を高めることができるなど、不登校になった児童・生徒にとっても学校生活に対する不安や嫌な記憶から一度離れることで、心機一転しやすくなり、新しい環境でのリスタートができる点からも大きな期待が持てると思いました。



小平町役場での意見交換



ちょい蔵(ちょいくら)



お困りごとやご意見がありましたら
ぜひご連絡ください。

HP



X
(旧Twitter)

